

令和2年度 学校だより 学校評価特別号	名古屋市立矢田小学校 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4-4-1 TEL 052-721-2508 (電話・来校者対応時間 平日7:45~18:00) <a href="http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/">http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/</a>
 <b>学校と家庭、地域をつなぐ 矢田だより</b>	
発行日 令和3年3月15日(月)	

## 学校評価の結果と改善点をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。ここに、結果をお伝えするとともに、今後改善すべき点を明らかにして、よりよい教育活動を進めていきます。



### 評価結果の見方について

教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートを比較・検討しました。

- ① A(よくあてはまる)を4点、B(だいたいあてはまる)を3点、C(あまりあてはまらない)を2点、D(まったくあてはまらない)を1点として計算・平均化しました。
- ② 平均点が3.2点(80%)を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3点未満のものについては、対策が必要であると考え、△の判定をしました。
- ③ 令和元年度と2年度で共通している評価指標の平均点と判定については、比較できるように、( )内に令和元年度の結果を示しました。
- ③ 簡単な分析や今後の課題とすべきことを、➡以降にゴシック体で記述しました。今後の改善に生かしていきたいと考えています。

### アンケート1 年度目標「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進 モデル実践校」としての取り組み

評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、自分ごとの「わくわく(やってみたいこと・調べてみたいこと等)」を見つけられるよう、指導を工夫した。	3.3	◎
保護者	子どもが、自分ごとの「わくわく(やってみたいこと・調べてみたいこと等)」を見つけられるように取り組んでいる。	3.2	◎
児童	わたしは、自分ごとの「わくわく(やってみたいこと・調べてみたいこと等)」を見つけることができた。	3.4	◎

- ① ➡ 本校では、生活科や総合的な学習の時間に「PBLの考え方を生かした探究的な学び」を取り入れています。学習過程の「ふれる」段階を工夫し、子どもが、様々な場所に出掛けたり、多くの人に出会うことができるようにしたりして、自分ごとの「わくわく」を見つけられるようにしました。

その結果、児童の評価は【平均点3.4判定◎】と非常に高いものとなりました。次年度も、子どもにとって魅力のある学びを提供することができるよう、「探究的な学び」の充実に努めていきたいと考えています。



【有松絞りを体験する6年生の様子】

	教職員	子どもが、自分なりの見通しをもち、活動できるよう、指導を工夫した。	3. 4	◎
	保護者	子どもが、自分なりの見通しをもち、活動できるように工夫している。	3. 1	○
	児童	わたしは、自分なりの見通しをもって、活動することができた。	3. 3	◎
②	<p>➡ 自分ごとの「わくわく」を見つけた後、1・2年生は、独自の学習プリントを活用して、課題を解決するための計画を立てるようにしています。また、3年生以上では、解決したい問いを立てたり、課題を解決するための企画書を作成したりすることができるよう、「ログブック」を活用しています。</p> <p>その結果、子どもたちは、自分なりに見通しをもって探究的な学びに取り組む姿が見られるようになってきました。今後は、うまく課題を解決できなくなってしまったときに、自ら計画を変更したり、解決方法を工夫したりする「学びを調整する力」を高めていきたいと考えています。</p>			
	教職員	子どもが、友達と助け合い、学び合うことができた。	3. 3 (3.4)	◎ (◎)
	保護者	子どもが、友達と助け合い、学び合えるように取り組んでいる。	3. 2 (3.2)	◎ (◎)
	児童	わたしは、友達と助け合い、学び合うことができた。	3. 5 (3.5)	◎ (◎)
③	<p>➡ これは、6年生算数「比例と反比例」の授業の様子です。単元内自由進度学習という方法で学んでいます。AIソフト(キュービナ)やジャストスマイルドリルなどを使って自力解決をする子ども、計算ドリルを使って反復練習をする子ども、グループを作って解き方の情報交換をする子どもなど、その様子は様々です。算数が得意な子どもは、友達に説明することでより理解が深まります。また、苦手な子どもも友達の多様な考えを知り、よりよい解決方法を選択することができます。お互いのペースを尊重しながら、自分の取り組みやすい方法で学ぶスタイルが、高学年を中心に広がりつつあります。</p>			
			【単元内自由進度学習の様子】	
<b>アンケート2 年度目標 「子どもライフキャリアサポートモデル事業 モデル校」としての取り組み</b>				
評価指標			平均点	判定
	教職員	子どもが、自分のよいところを知り、なりたい自分を見つけようとするができるよう、指導を工夫した。	3. 2	◎
	保護者	子どもが、自分のよいところを知り、なりたい自分を見つけられるように取り組んでいる。	3. 0	○
	児童	わたしは、自分のよいところを知り、なりたい自分を見つけようとした。	3. 3	◎
④	<p>➡ 教職員が子どものよさを捉え、子どもが自分のよさを意識することができるよう、授業中だけでなく、日常生活の中でも声を掛けるようにしています。その結果、教職員アンケート、児童アンケートは◎の判定となりました。</p> <p>昨年度もお伝えしましたが、お子さんのよさを保護者の皆様とも共有する機会をもち、家庭でも話題にさせていただくことで、子どもたちの自己肯定感が、より高まるようにしていきたいと考えています。</p>			

教職員	子どもが、「あったか言葉」を使って、みんなとつながることができるよう、指導を工夫した。	3. 5 (3.1)	◎ (○)
保護者	子どもが、「あったか言葉」を使って、みんなとつながることができるように取り組んでいる。	3. 1 (2.9)	○ (△)
児童	わたしは、「あったか言葉」を使って、みんなとつながることができた。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
⑤	<p>➡ 児童アンケートの結果は、昨年度同様、平均点3.4、判定◎となりました。昨年度より、継続して指導してきた成果と捉えています。また、保護者アンケートの結果も改善が見られます。取り組みの輪が家庭や地域に広がっていくよう、お子さんに励ましの声を掛けていただいているおかげと感謝しています。</p> <p>しかし、友達とトラブルが起きると、つい厳しい口調になってしまうというような実態も見られます。「あったか言葉」がしっかりと定着するよう、今後も指導を継続していきます。</p>		
<b>アンケート3 学習について</b>			
評価指標		平均点	判定
教職員	子どもにとって「分かりやすい授業」となるように、指導を工夫した。	3. 4 (3.5)	◎ (○)
保護者	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。	3. 1 (3.2)	○ (◎)
児童	先生の授業は分かりやすい。	3. 7 (3.6)	◎ (◎)
⑥	<p>➡ 今年度も、分かりやすい授業を目指し、校内学習会（オンライン学習会含む）を開き、タブレットパソコンを使った授業の進め方やグループ活動の充実について学び、指導力の向上に努めてきました。学んだことを生かし、日々の授業に取り組んだ結果、428人（約96%）の児童が「授業がとても分かりやすい。」「まあまあ分かりやすい。」と答えています。今後も、子どもたちにとって分かりやすい授業を展開することができるよう、さらに指導力の向上に努めていきたいと考えています。</p>		
<b>アンケート4 生活について</b>			
評価指標		平均点	判定
教職員	子どもにとって「楽しい学校」となるように、指導を工夫した。	3. 5 (3.4)	◎ (◎)
保護者	子どもは「学校へ行くのが楽しい」と言っている。	3. 5 (3.4)	◎ (◎)
児童	学校は楽しい。	3. 6 (3.5)	◎ (◎)
⑦	<p>➡ 昨年度同様、アンケートの結果から、学校は楽しいと感じている児童が大変多く、保護者もそれを認めているということがアンケートの結果からよく分かります。新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な場面で制限がある学校生活となっていますが、限られた条件の中でもできることを模索しながら、子どもたちにとって「楽しい学校」となるよう努めていきます。</p>		
	<p><u>ミラとびランド2020</u> 自動車整備を体験する児童と、その様子をオンラインで配信する児童の様子。キャリア教育に関わる新しい行事にチャレンジしました。</p>		

⑧	教職員	子どもが、進んで挨拶することができるよう指導した。	3. 3 (3.2)	◎ (◎)
	保護者	子どもは、進んで挨拶をしている。	3. 3 (3.1)	◎ (○)
	児 童	わたしは、進んであいさつしている。	3. 3 (3.3)	◎ (◎)
<p>➡ 代表委員やPTA地域校外委員さんが、登校する児童に「おはようございます。」と声を掛けたり、PTA主催「あいあいあいさつキャンペーン」を実施したりするなど、地道に働き掛けてきた結果、子どもたちに「進んで挨拶をしようという意欲」が高まってきました。学校や地域に、子どもたちのさわやかな挨拶の音が響くよう、来年度も継続して指導していきたいと考えています。</p>				
⑨	教職員	子どもが、よりよく生活するために、様々な場面で適切に判断できるように指導した。	3. 5	◎
	保護者	子どもが、よりよく生活できるよう、様々な場面で適切に判断できるよう、指導している。	3. 3	◎
	児 童	わたしは、よりよく生活できるように、考えながら行動した。	3. 3	◎
<p>➡ 今年度は、「矢田小のやくそく」を大幅に見直しました。時や場面に応じて、「よりよく生活するためには、自分はどうすればよいのか」を考えられるように指導を進めています。「みんなが気持ちよく生活できるようにするためにはどうしたらいいのか?」「安全に生活するためにはどうしたらよいのか?」について、継続して意識していくことができるように、ご家庭でも話題にさせていただけたらと思います。</p>				
アンケート5 健康・安全について				
評 価 指 標			平均点	判定
⑩	教職員	安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行った。	3. 5 (3.6)	◎ (◎)
	保護者	学校は、安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行っている。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
	児 童	わたしは、安全に関わる行事（交通安全・防犯・防災など）に真剣に取り組んだ。	3. 7 (3.6)	◎ (◎)
<p>➡ 「絶対に事故を起こしてはいけない。」「絶対にけが人を出してはいけない。」という教職員の真剣みあふれる取り組みにより、全ての評価指標で高評価を得ることができました。来年度も、この結果を維持することができるよう、緊張感をもって訓練を実施していきたいと考えています。</p> <p>残念なことに、今年度も学区内で数件、不審者に関する情報がありました。不審者の対応については学校でも指導しているところですが、「つみきおに」を意識して行動できるよう、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。</p>				
⑪	教職員	子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行った。	3. 6 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	学校は、子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行っている。	3. 4 (3.3)	◎ (◎)
<p>➡ 学校での出来事やお子さんの様子について、電話をかけたり、時には家庭訪問をしたりして、迅速かつ密に保護者のみなさまと連絡を取り、共通理解を図るよう心掛けています。そのため、保護者のみなさまからも高い評価を得ることができました。今後も保護者のみなさまと良好な信頼関係を構築・継続していけるよう努めてまいります。</p>				
⑫	教職員	「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行った。	3. 4	◎
	保護者	学校は、「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行っている。	3. 4	◎

児童	わたしは、「新型コロナウイルス感染症」の予防を心掛けて生活することができた。	3. 6	◎
<p>➡ 今年度は、学校再開後、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「新しい生活様式」での学校生活を送らざるを得ない状況となりました。学校では、手洗いタイムを設け、衛生面の指導を徹底しています。また、各教室への「空気清浄機」の設置、図工室や理科室など対面での活動が行われる教室への「飛沫防止パネル」の設置など、感染防止対策を進めています。</p> <p>子どもの安全・健康を守るために、登校前の検温、マスクの着用、手洗いの徹底など、保護者の皆様には、様々な場面でご協力をいただきました。ありがとうございました。感染が終息するまで、まだ見通しが立ちませんが、今後も感染防止対策へのご協力をお願いいたします。</p>			
			
		【手洗いタイムの様子】	

### アンケート6 運営について

評価指標		平均点	判定	
教職員	子どもの悩みやトラブルに適切に対応した。	3. 4 (3.3)	◎ (◎)	
保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	3. 2 (3.2)	◎ (◎)	
児童	先生は悩みやトラブルがあったときは、真剣に話を聞いてくれた。	3. 7 (3.6)	◎ (◎)	
⑬	<p>➡ 本校は、1～6年生の児童には年2回の「いじめアンケート」、4年生以上の児童には、年3回の「SOSノート」、年2回の「学校生活アンケート (HyperQ-U)」の取り組みを通して、きめ細かく、子どもの心の状態を把握することに努めています。</p> <p>また、児童教育相談の期間だけでなく、休み時間に子どもと一緒に遊んだり、教室で子どもの相談にのったりするなど、子どもに積極的に関わろうとする教師が多く、心に寄り添った生徒指導を心掛けています。その結果、児童の評価は【平均点 3.7 判定◎】と非常に高いものとなりました。今後も、この評価を維持することができるよう、丁寧な対応に心掛けていきたいと考えています。</p>			
教職員	施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えた。	3. 4 (3.1)	◎ (○)	
保護者	学校は、施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えている。	3. 3 (3.3)	◎ (◎)	
⑭	<p>➡ 今年度は、校内のバリアフリー化を進めるためにエレベーター棟の増築工事を行いました。工事中は何かとご不便をおかけし申し訳ありませんでした。また、「タブレットPC一人一台配布」を見据え、校内のLAN線の増強工事やタブレット保管庫の設置工事を行いました。さらに、北校舎東運動場トイレ、プール横トイレを洋式化しました。</p> <p>今後も、子どもにとって安全でより快適な学習環境を目指し、整備を進めていきたいと考えています。</p>			
教職員	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えた。	3. 0 (3.0)	○ (○)	
⑮	保護者	学校は、学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えている。(学校だより・ホームページ・ZOOMによる発信など)	3. 3 (3.2)	◎ (◎)

➡ 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者の皆様に、来校していただく機会が大幅に制限されることとなりました。そこで、オンライン会議システムZOOMを活用し、「1年生給食参観」「学校公開週間」「修学旅行説明会」「PTA家庭教育セミナー」「授業参観」などを実施しました。多数の方にご参加いただきありがとうございました。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、どのような方法で、授業参観や懇談会について実施していくか検討していきたいと思っております。

## 学校関係者評価委員会が開かれました

学校関係者評価は、学校評価の客観性や透明性を高めるために、「自己評価（教職員）・保護者アンケート・児童アンケートの結果」をもとに、本年度の取り組みについて学校外部の方々に評価をしていただくもので、本校では学校評議員とPTA会長・PTA母親代表のみなさまに委員をお願いしています。今年度は紙面を通しての開催としました。いただいた意見の一部を紹介させていただきます。



### アンケート1 年度目標「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進 モデル実践校」としての取り組みについて

- 子どもに「以前の学習スタイルと現在のスタイル、どちらが楽しく勉強できている？」と尋ねたら、「今の方！」と答えていました。様々な目線で、課題に取り組めるのはとてもよいと思います。

### アンケート2 年度目標「子どもライフキャリアサポートモデル事業 モデル校」としての取り組みについて

- 子どもたちが見せる顔が、学校と家庭で違うことが理由なのか、教職員と保護者とで評価に差が出ています。子どもたちに自己肯定感が高まるよう指導したことが、児童と教職員の評価の高さからうかがえます。

### アンケート3 学習について

- 令和2年度はコロナ禍での新しい生活様式となったため、授業の形式も例年とは違っていたにもかかわらず、児童の判定が変わらなかったのは、よいと思います。

### アンケート4 生活について

- 多くの子どもたちが「学校は楽しい」とアンケートに回答しています。先生方のご努力と思います。いじめがあった場合は、学校がすばやく対応することを望んでいます。

### アンケート5 健康・安全について

- コロナ禍での学校生活は、本当に気を遣う場面ばかりかと思えます。しかし、再休校もなく、重大な事件もなく、ここまで来られたのは、先生方始め地域の方々や保護者のみなさんの協力があったからだと思えます。有事の時こそ、こういう連携は本当にありがたいと感じました。

### アンケート6 運営について

- 心に寄り添った指導をしていただいていること、高く評価させていただきます。施設面でのサポート（バリアフリー化・洋式トイレへの変更など）のみならず、子どもたちがソフト面でもより快い学校生活を送れるようにするために、人的な努力は相当なものであったろうと推察いたします。

など

これらの意見も、来年度の矢田小学校の教育活動に生かしていきます。